

埼玉県議会ASEAN友好議員連盟 上海・ASEAN訪問団視察報告

平成23年10月31日から11月5日にわたり、埼玉県議会ASEAN友好議員連盟（18名が参加）の一員として、上海(中国)及びハノイ(ベトナム)を訪問し、経済分野の視察を行った。今回の視察の目的は、本県企業の一層の海外展開を支援するため、昨年11月に立ち上げた埼玉県上海ビジネスサポートセンターの活動状況の把握をはじめ、上海周辺自治体等との経済関係の強化、新たにベトナムとの経済関係を拡大すべく、現状視察と計画投資大臣等との会談を行った。なお、当初タイ国も訪問する予定であったが、洪水被害により今回は訪問を取りやめた。

<視察日程>

平成23年10月31日	出国 ①上海日本商エクラブとの懇談会 ②上海近隣市副市長との会談 ③埼玉県上海ビジネスサポートセンターネットワーク交流会
11月1日	①新大洲本田摩托有限公司(県内進出企業)を視察 ②上海市人民政府との会談
11月2日	①上海ビジネスサポートセンターを視察 ②上海環球金融中心を視察
11月3日	タンロン工業団地を視察
11月4日	①在ベトナム日本国大使館での意見交換 ②JETROハノイ事務所での意見交換 ③ベトナム計画投資大臣との会談
11月5日	帰国



上海日本商エクラブ等日系要人との懇談会
<日系企業の幹部から上海の経済や企業活動の現状報告があり、上田知事も出席して、活発な意見交換が行われた。>



上海市内
<企業やマンションのビル群が並び、活発な経済活動の様子が感じられた。>



上海近隣3市副市長との会談

＜上海市の近隣市である大豊市、塩城市、常熟市の幹部が各市における企業投資の有利性についてプレゼンテーションがあり、今後本県とも経済交流を持ちたいとの強い意向を示した。＞



埼玉県上海ビジネスサポートセンター・ネットワーク交流会

＜JETRO 上海センターなどの公的団体をはじめ、民間企業、山西省人民政府関係者など 150 名が参加し、交流会を行った。＞



新大洲本田摩托有限公司（県内進出企業）を視察

＜2001年に設立されたホンダの現地工場。バイクを主要製品として製造している。従業員4800人。会社の寮に社員・家族が1000人住み、従業員の子供のための小学校を持っている。写真は、電動自転車について説明を受けているところである。＞



新大洲本田摩托有限公司

＜ホンダ工場の外観＞



上海市人民政府（及び幹部）との会談

＜上海市の経済、観光などの取り組みについて、旅遊局長から説明を受けた。本県の魅力についても、知事及び議長から伝え、今後の一層の交流強化を約束した。＞



上海ビジネスサポートセンターを視察

＜当センターは、設立1周年を迎えた。所長と職員3名で運営されている。これまで、約350件の相談があった。企業同士の商談成立は3件であるが、現在進行中の案件もあり、今後実績を伸ばしていくと期待される。＞



上海環球金融中心を視察

＜世界一高い森ビルをはじめ、周辺地域の今後の都市計画について、ジオラマを使った説明があった。＞



在ベトナム日本国大使館での意見交換

＜三宅経済班長から、ベトナムの投資環境について説明があった。GDPは1000ドルを超し、開発途上国から「中心国」になった。国民の平均年齢は、28歳と若い。投資環境の課題としては、人材の育成、安定的電力などのインフラ開発、市場経済化がある。＞



ベトナム計画投資大臣との会談

＜大臣と議長との会談後、埼玉の企業によるベトナムへの投資促進を期待された。前列中央がブイ・クアン・ビン大臣。＞



ハノイの街を走るバイクの波

＜街に地下鉄などの鉄道が整備されていないため、バイクが移動手段の中心となっている。慣れないと道路を渡るのはかなりたいへん。＞